

◎ 「日本100名城」とは

・日本城郭協会は平成19年度に創立40周年記念事業として「日本100名城」として選定した。  
日本が世界に誇る文化遺産であり、地域の歴史的シンボルである城郭が広く市民から理解され、より充実した見学が楽しめる様に企画された。

◎ 「日本100名城」の選定基準

① 優れた文化財・史跡であること

・城郭は城地の選定、縄張(設計)、普請(土木工事)、作事(建築)が揃ってこそ名城とされ、これらの要素がよく保存されている事。  
この中で、特に価値の高いものが国宝であり松本城・犬山城・彦根城・姫路城・松江城・熊本城の6城が指定。

② 著名な歴史の舞台であること

・名将の拠点城郭や、歴史的事件の舞台となった城郭で、今にその面影を偲ぶことが出来る遺構である。  
楠木正成の千早城、天下統一の拠点となった安土城・大阪城・江戸城、更に戊辰戦争の会津若松城、五稜郭等。

③ 時代・地域の代表であること

・城郭発達史の観点から各時代を代表する城として、古代の朝鮮式山城や城柵、中世の居館・山城は欠かせません。

(注釈は日本100名城ガイドブックから抜粋)

◎ 100名城登城のキッカケ

・2012年頃、BSテレビにて「城下町へ行こう」の番組があり、お城とその城下町を紹介する内容であった。

以前からお城には興味があり幾つかのお城を既に訪ねていた、丁度その頃に書籍で「日本100名城公式ガイドブック(スタンプ帳付)」を購入した。

◎ 100名城登城の実行

・自分の健康維持、家族(家内)での国内小旅行、歴史的な知識を深める等を目的に2013年2月、沖縄から100名城巡りをスタートさせ、5年位で全100城の登城を目指した。

・全100名城登城に要した期間は途中2度ほど体調を崩した事があるも5年10カ月、2018年12月に達成した。回数にして30回、延べ日数では80日を費やした。

・お城の種類は大きく分けて①山城、②平山城、③平城の三種類が存在した。

① 山城 ; 金山城(群馬県)・岩村城(岐阜県)・安土城(滋賀県)・竹田城(兵庫県)・備中松山城(岡山県)・今帰仁城(沖縄)等

② 平山城; 松前城(北海道)・会津若松城(福島県)・犬山城(愛知県)・松江城(島根県)・高知城(高知県)・熊本城(熊本県)等

③ 平城 ; 根城(青森県)・江戸城(東京都)・松本城(長野県)・二条城(京都府)・赤穂城(兵庫県)・今治城(愛媛県)・島原城(長崎県)

◎ 「日本100名城」全登城の認定

・登城完了後にスタンプ帳を日本城郭協会に登録申請を行い2019年1月に協会から認定を受けた。



新発田城(新潟県)にて



(スタンプ帳・登城認定証)